

令和9年度使用小学校用教科用図書とその特徴（全13種目）

令和9年度使用小学校用教科用図書については、令和7年度に採択したものと同一の教科書を採択する。

	種目	発行者	主 な 特 徴
1	国語	光村図書	6年間通して「問い」から学習がスタートしており、児童が見通しをもつことができ主体的な学びにつながる。「ふりかえろう」では、観点が示され、何を学び、できるようになったかを具体的に振り返ることができる。
2	書写	光村図書	児童が直接に書き込みをしながら学びを進めることができる工夫がある。毛筆で学習したことを硬筆でまとめるようになっている。学習の進め方を明記し、話し合いながら学習することを促している。
3	社会	教育出版	教科書冒頭で学習の進め方を「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という表現を用いて見開きで示している。過去のモノクロ写真もカラー化されていて児童の興味や関心を引く。
4	地図	帝国書院	新たに使用する3年生がスムーズに地図学習に取り組めるよう、入門期のページが充実している。県の様子、地形の様子、土地利用の様子など必要な情報が分かりやすい。
5	算数	学校図書	身近な疑問から生まれた「？を発見」を単元の導入にし、問題把握から振り返りまでの問題解決過程や数学的な見方・考え方の一覧を分かりやすく表記し、毎時間の学習で使用できるようにしている。
6	理科	東京書籍	発達段階や学習内容のつながりや学びの積み重ね、季節を考慮するなど配列を工夫している。他教科での学びを生かして、実験結果を考察できるように工夫している。
7	生活	東京書籍	「協働的な学び」の実現に向けて、活動や体験で得た気づきを伝え合う場面や関わる姿などを具体的に示している。他教科で身に付けた資質・能力を生かす場面を具体的に例示し、イメージしやすい。
8	音楽	教育芸術社	歌唱、器楽と鑑賞とが相互に作用しながら学習内容が身に付くように、工夫しており、段階を追ってスモールステップで学習できるようになっている。学習の連続性を意識した構成となっている。
9	図画工作	日本文教出版	鑑賞を重視し、表現と鑑賞を往還し、鑑賞から制作につながるなど題材構成が工夫されている。学習のめあてを細分化して提示しているため、評価のポイントが絞りやすい。
10	家庭	開隆堂	全ての題材を3ステップで構成し、「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」と問題解決的な展開になっている。内容やイラストが見やすい紙面になっている。
11	保健	東京書籍	4ステップ「気づく」「調べる・解決する」「深める」「まとめる」で学びが構成されており、見通しをもった学習ができる。時間ごとにまとめを書く欄があり、気づきや考えを記入することができる。
12	外国語	東京書籍	単元の流れが、内容に親しむ、学習内容の定着を図る、コミュニケーションを楽しむ、世界の文化を知るという構成で、書き込み欄や思考ツールが配置され、児童がめあてや考えを記述することができる。
13	道徳	教育出版	人物教材が豊富で高学年ほど多く扱っており、リアルな生き方から学ぶことができる。定番教材も充実している。本教材と補充教材が用意され、地域や学校、学級の実情に応じた指導ができる。